

2022年5月12日
北海道学生サッカー連盟

北海道学生サッカー連盟 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【第4版】

北海道学生サッカー連盟の活動に携わる全ての関係者は以下の内容を踏まえつつ、感染防止策に取り組んでください。

1. 事前の対応

北海道学生サッカー連盟、当番校ならびに各参加チームは、会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求めることが重要です。そのため、北海道学生サッカー連盟および参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置し、イベント等の事前、当日、事後にお互いが連絡を取り合える環境を構築しておく必要があります。

(1) 参加者への連絡事項

北海道学生サッカー連盟が参加予定チームの選手・スタッフ、審判および役員に対して事前に求める感染拡大防止のための措置として、以下の項目が挙げられます。参加予定チームは、以下の項目を大会開催前ならびに大会期間中に各チーム内で徹底ください。また運営に関わる役員、会場スタッフ、その他関係者全員に対しても同様に事前伝達してください。

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者全員が運動・プレー中以外は、マスクを着用する。
- ③ 参加者全員が健康チェックシートに記入のうえ、当番校へ提出する。
- ④ 大会に参加する上で北海道学生サッカー連盟が示す注意事項を遵守する。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症を発症、もしくは濃厚接触者に認定された場合、速やかに報告する。
- ⑥ 他人との接触状況を可能な限り記憶しておく。
(感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます)
- ⑦ 各チームでアルコール消毒液及びゴミ袋を持参し、衛生環境の保全に努める。また、手洗い後に手指を拭くためのタオルは各自が持参する。その他、衛生環境については、開催地区の自治体および地区協会の方針に従って保全に努めること。

2. 大会会場における感染防止対策

北海道学生サッカー連盟ならびに当番校は以下の点に留意して会場の設営、大会運営を行ってください。

(1) 諸室

運営諸室において、以下の対応を行ってください。

- 換気や距離の確保に留意し、3密が発生する環境を極力阻止する
- 座席を設置する際に前後左右 2m以上の間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する
- 喫煙所は設けない

(2) ロッカールーム

基本的には使用しないでください。利用する場合は、以下のことを守るように努めてください。

- 広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する
- 常時換気を行う
- 選手及びスタッフはマスクを着用する
- ロッカールームでの滞在時間を短くするため、着替えに限定するなど工夫する
- シャワー室の使用は禁止する

(3) 審判控室

審判控室について、以下の準備を行ってください。

- 広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける
- 常時換気を行う

審判員の注意事項について、以下のことを審判員に伝えてください。

- 審判員は競技以外ではマスクを着用する（第 4 の審判員は競技中もマスクを着用する）
- 審判員はシャワーを交代で使用し、密集を避ける
- 審判員同士のミーティングは会場で 3 密とならないスペース等を探して実施する

(4) ベンチ

必要に応じてベンチで間隔を空けて座れるよう、追加ベンチを設置することも検討する。その際、暑熱対策として屋根がある方が望ましい。

(5) 代表者会議におけるチームへの伝達事項

運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝達してください。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- 密接になる円陣は行わない
- ハイタッチ、抱擁を自粛する
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- 口に含んだ水を吐かない
- ドリンクボトルを共有しない
- **原則**前後半それぞれ最低 1 回の給水タイムを設ける
- 水や氷を溜めたクーラーボックスを共有しない
- タオルを共有しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ベンチではアップする選手を除き、マスクを着用する
- アップ前後、ハーフタイム時、選手交代時の手指消毒を徹底する
- 試合終了後 1 時間以内に撤収する

※上述の伝達事項は、参加チームが大会参加にあたり遵守すべき事項であるため、北海道学生サッカー連盟は各チームに事前に伝達する。

(6) メディア対応

メディアに対しても、(1) 参加者への連絡事項を遵守するように伝達してください。加えて下記事項にも留意するように伝えてください。

- 健康チェックシートを提出する
- 取材者は取材対象から2m の距離をとり、取材者同士も最低1m 間隔を保って取材をする

(7) 健康チェックシートと参加可能な健康状態について

- 参加チームの感染対策担当者は原則として主将とする
- 試合開催 2 週間前から当日までの健康状態において症状**発症及び消失の状況が認められた場合、以下①および②の両方の条件を満たす状況であれば出場、参加が認められる。
 - ① 発症後に少なくとも 8 日が経過している
 - ② 薬剤*を服用していない状態で、解熱後および症状**消失後に少なくとも 3 日間が経過している

*解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤

**37.5 度以上の発熱・咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など

※8 日が経過している：発症日を 0 日として 8 日間のこと

※3 日が経過している：解熱日・症状消失日を 0 日として 3 日間のこと

尚、上記に該当しない場合であっても、PCR 検査または同等の検査(Smart Amp 法検査等)により陰性が確認されれば、参加可能とする

- **健康チェックシートの〈大会前 2 週間における健康状態〉のチェック欄に、一つでもチェックがない項目がある者は試合への参加は認めない**
※ただし、PCR 検査または同等の検査(Smart Amp 法検査等)により陰性が確認されれば参加可能とする
- 濃厚接触者に認定された場合には、保健所から指示された期間中の試合参加は認めない
- 感染対策担当者は試合当日の登録メンバーおよびスタッフ全員が、参加可能な健康状態であることを確認のうえ健康チェックシートを代表者会議で提出する
- 学生リーグの1部では、当番校が健康チェックシートの取り纏めを行い、MCが確認を行う
- 学生リーグの2・3部およびIリーグでは、当番校が健康チェックシートの取り纏めと確認を行う
- 参加チームごとに、チームの構成メンバーの住所と連絡先のリストを作成しておき、提出を求められた際には速やかに提出できるようにしておく

(8) 試合観戦

今年度の北海道学生連盟主催大会は**有観客で運営します。そのため登録外の選手も試合を観戦することが可能ですが、健康チェックシートを提出する必要があるほか、身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保するように各チームで徹底してください。**一般の観客の方に関しては、健康チェックシートの提出は求めません。ただし、スタンドのある会場（ネット等の明確な仕切りの内側にスタンドがある場合）につきましても、当番校が責任をもって観戦者の「氏名」、「連絡先」、「体温」を確認し、リストを作成するようにしてください。観客者リスト作成の対象となる会場は「厚別競技場」と「東光スポーツ公園」です。ただし、施設側からの要請で参加者リスト（観客者も含む）の提出が求められる場合は、その要請に従うようにしてください。

これらの対応を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。大会に参加するチームの関係者は、その点を理解した上で大会に参加し、**感染症対策への協力をお願いします。**また、

運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化^{注1}することにより、熱中症を発症するリスクが高まりますので、こまめな水分補給を心掛けてください。

注1…熱中症予防の観点から、2m以上のソーシャル・ディスタンスを確保できる場合は、マスクを着用しなくても構いません。

3. 移動・宿泊

移動および宿泊については、各参加チームが所属する大学の許可および指示に基づいて行うことを前提としたうえで、以下の点に留意してください。

(1) 移動

参加者の移動については、可能な限り公共交通機関の利用を避け、バスや乗用車等を利用することを推奨します。乗り物内での留意事項については下記の通りです。

- 乗り物内ではマスクを着用する
- 乗り物内では密をさけるよう人数を極力減らし、着席する席の間隔を空ける
- 長時間（2 時間以上等）移動の場合、複数台に分乗して選手間の身体的距離の確保を検討する
- 1 時間につき 3 回の換気を推奨として、窓を開けて換気する
- サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に務める
- 乗り物内でマスクを外すことになるため、感染及び濃厚接触を防ぐ観点から、移動中の車内での食事については慎むこと

(2) 宿泊

宿泊施設を利用する場合、宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らし、接触による感染リスクをできるだけ減らす工夫をする必要があります。宿泊施設での留意事項は下記の通りです。

- 個室を基本に、可能な限り絞った人数での宿泊とし、密を避けて設定する
- 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する
- 時間指定等により食事会場を参加者の団体の専用とすることができるか検討する
- 食事の際は、向かい合わせの配席はせず、身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）の確保に努める
- 自室以外ではマスクを着用する

4. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、当番校は大会当日に参加および観戦した選手・スタッフ、審判ならびに運営関係者から提出された健康チェックシートを、公式記録とともに北海道学生サッカー連盟に送付してください。上記の各リストは当連盟にて保存期間（少なくとも 4 週間）を明記した上で保存します。

大会開始 10 日前から大会終了後 10 日以内に、参加選手・スタッフ、運営関係者の中で新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合、保健所の指示に従うとともに、北海道学生サッカー連盟ならびに所属地区協会にその旨報告してください（次ページのフローチャート参照）。

以上

大会開始 10 日前～大会終了後 10 日以内に参加選手・スタッフ・運営関係者の

新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合の対応

①参加選手・スタッフ・運営関係者の中で新型コロナウイルス感染症の感染が判明



②感染者が所属するチームの感染対策担当者に連絡



③チームの感染対策担当者が北海道学生サッカー連盟に報告

【北海道学生サッカー連盟の連絡先】

- ・ 木島 敦（感染対策理事）：携帯<090-3347-1495>
e-mail<atsushi-kijima@seisa.dohto.ac.jp>
- ・ 濱谷 弘志（学連理事長）：携帯<080-2555-7870>
e-mail<hamatani.hiroshi@i.hokkyodai.ac.jp>



④チームの感染対策担当者が所属地区サッカー協会に報告

所属地区協会への報告フォームについては以下の URL を参照してください

https://drive.google.com/file/d/1asvYJnOwZwJ9rScudlDGgblAnjgu_bn6/view?usp=sharing

- 参照資料
- ・ 日本サッカー協会 サッカー活動の再開に向けたガイドライン
 - ・ 北海道サッカー協会 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
 - ・ 関東大学サッカーリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン